

カナダ会計基準審議会（AcSB）との二者間会議の概要

ASBJ 専門研究員 いとう しゅうじ 伊藤 修司

I. はじめに

企業会計基準委員会（ASBJ）とカナダ会計基準審議会（Accounting Standards Board; AcSB）の代表者は、2022年1月25日にビデオ会議を実施した。この会合は、ASBJとAcSBとの間で3回目の二者間会議である。AcSBからはLinda F. Mezon-Hutter議長、Armand Capisciolto副議長ほかスタッフが出席し、ASBJからは川西副委員長ほか筆者を含むスタッフが出席した。今回の二者間会議では、お互いの活動の最新の状況を紹介するとともに、両基準設定主体が共通の関心を有している項目についての議論が行われた。

II. 主な報告及び議論された内容

1. AcSBからの報告

AcSBの代表者から、主に次の項目を中心に報告が行われ、議論が行われた。

(1) AcSBの戦略計画

AcSBが2021年5月に公表した戦略計画案の目的及び主要な戦略が紹介され、利害関係者から当該戦略案が概ね支持されていることが報

告された。当該戦略計画は、2022年3月に最終化され、2022年4月から適用される予定であることが紹介された。

(2) 暗号資産に関するAcSBの活動

2021年7月26日付の欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）ディスカッション・ペーパー「暗号資産（負債）の会計処理：保有者及び発行者の視点」に対するスタッフ見解について紹介された。暗号資産については、国際会計基準審議会（IASB）の第3次アジェンダ協議にてテーマの重要性が強調されていることに触れたうえで、市場の発展を引き続き注視していくことが述べられた。

(3) 国際的な活動

AcSBの国際的な活動として、IASBが実施しているプロジェクトのうち、AcSBで関心が高い次のプロジェクトについて紹介された。

① IFRS第17号「保険契約」

2021年12月に公表されたIFRS第17号「保険契約」の狭い範囲の修正への対応及びIFRS第17号の導入に向けた利害関係者との対話を継続していくことが紹介された。

② IASB公開草案「IFRS基準における開示要求—試験的アプローチ IFRS第13号『公正価値測定』及びIAS第19号『従業員給付』

の修正案」

100以上の利害関係者と協議のうえ、IASBの意図及び目的は支持するが、提案されたアプローチは根本的な変化を生じさせるものであり、基準設定だけでは問題が解決しない可能性があるといった課題や、最小限の開示の包括的なリストを含めることでIASBの提案の有効性を損なわせる場合があると指摘するコメント・レターが提出されたことが紹介された。

③ IASB 公開草案「公的説明責任のない子会社：開示」

公開草案の範囲に焦点を当てたコメントをIASBに提出予定であることが紹介された。

④ IASB 情報要請「IFRS 第9号『金融商品』の適用後レビュー分類及び測定」

IFRS 第9号の分類及び測定に関する要求事項に対して一定の評価をしているが、利害関係者からは複雑な金融商品への適用に関する疑問やFVOCIオプション¹を適用する資本性金融商品のリサイクリングを提案する意見が聞かれていることが紹介された。

上記のほか、カナダにおける基準の開発状況についての説明が行われた。

2. ASBJからの報告

ASBJの代表者からは、AcSBにおける議論に対応する形で、主に次の項目を中心に報告が行われた。

(1) IASB 公開草案「経営者による説明」に対するコメント

(2) IASB 情報要請「第3次アジェンダ協議」に対するコメント

(3) IASB ディスカッション・ペーパー「共通支配下の企業結合」に対するコメント

(4) IASB 情報要請「IFRS 第9号の適用後レビュー分類及び測定」

情報要請に対する対応状況や、アウトリーチを通じて得られたフィードバックの内容について紹介された。

(5) IASB 公開草案「IFRS 基準における開示要求—試験的アプローチ IFRS 第13号及びIAS 第19号の修正案」

公開草案に対する対応状況や、公開草案に対する予備的な見解が報告された。

(6) サステナビリティ報告

サステナビリティ基準委員会（SSBJ）の設立及びSSBJ設立準備委員会の設置について説明された。

さらに、日本における日本基準、IFRS、及び米国基準の適用状況や2022年4月に予定されている証券市場の再編及び日本基準の開発状況についての説明が行われた。

Ⅲ. おわりに

会合の最後に川西副委員長及びAcSB議長により、今回の会合が有意義であったこと、及び今後も二者間の議論の継続が望まれることが確認された。

1 IFRS 第9号 5.7.5 項で定める、資本性金融商品に対する投資の公正価値の変動をその他の包括利益（Other Comprehensive Income：OCI）に表示するという取消不能の選択。

